

第2期秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る「経過」及び「今後の予定」について

1 経過

- (1) 令和6年1月
外部評価報告書(令和4年度)のまとめ
- (2) 2月
外部評価結果を各部局にフィードバック(共有)
- (3) 3月
第2期総合戦略改定
- (4) 8月
総合計画ローリング・市長ヒアリング
- (5) 9月
各部局による自己評価(第2期総合戦略)

2 今後の予定

- (1) 10月22日(火)
【第4回会議】
総合戦略に係る外部評価
- (2) 11月7日(木)まで
評価報告書(案)に対する委員コメントの提出
- (3) 12月17日(火)
【第5回会議】
 - ・ 地方創生交付金の効果検証について
 - ・ 総合戦略の外部評価(まとめ)
- (4) 令和7年2月
 - ア 市長報告
 - イ 各部局へのフィードバック
- (5) 3月
総合戦略の改定

第2期

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(総合計画前期基本計画リーディングプロジェクト)

令和5(2023)年度評価報告書(案)

令和6年 月

1. 総合戦略の概要	4
2. 評価の趣旨及び方法	9
3. 具体的施策の評価	12
基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト	12
水とみどりを育む取組みの推進	14
人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進	16
生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進	17
災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進	19
基本目標1 達成状況の総括・外部評価	20
基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト	21
安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進	23
秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進	24
次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進	25
市民総ぐるみによる学校給食の推進	26
基本目標2 達成状況の総括・外部評価	27
基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト	28
温泉を生かしたにぎわい創造の推進	30
学生の力を生かしたにぎわい創造の推進	31

文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進	32
丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進	34
基本目標3 達成状況の総括・外部評価	35
基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト	36
表丹沢魅力づくり構想の推進	38
地域特性を生かした企業誘致の推進	39
新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進	40
国道246号バイパス（厚木秦野道路）早期全線事業化・整備の促進	41
基本目標4 達成状況の総括・外部評価	42
基本目標5 新たな日常創造プロジェクト	43
新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進	45
デジタル化の推進	46
基本目標5 達成状況の総括・外部評価	47
横断プロジェクト	48
移住・定住活性化	49
横断プロジェクト 達成状況の総括・外部評価	50
4. 外部評価の総括	51

秦野市まち・ひと・しごと創生総合戦略(以下「総合戦略」という。)については、国からの要請に基づき、内部における進行管理の妥当性、客観性を担保するため、平成29年度から外部評価を取り入れたものです。

外部評価を行う秦野市行財政調査会は、「秦野市附属機関の設置等に関する条例」に規定されている市長の「附属機関」です。

秦野市行財政調査会は、市長からの諮問に基づき、総合戦略及び総合計画の進行管理、評価に関する事項を担っています。

外部評価にあたっては、秦野市総合計画はだの2030プラン前期基本計画(以下「総合計画前期基本計画」という。)において、リーディングプロジェクトとして位置づけた5つのプロジェクトと1つの横断プロジェクトを第2期総合戦略の基本目標としていることから、第2期総合戦略と総合計画前期基本計画を同時に評価しました。

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

総合計画との一体的な取組みを推進

総合戦略は、「まち・ひと・しごと創生法」第10条に基づき、国の人口ビジョン及び総合戦略を勘案し、「秦野市人口ビジョン(令和3年3月改定)」で示した将来展望や目指すべき方向性の実現に向け、重点的に取り組むプロジェクトをまとめたものです。

第2期総合戦略では、総合計画前期基本計画のリーディングプロジェクトを基本目標に位置づけ、総合計画前期基本計画と一体的に取り組むことにより、地域資源を生かした活力あるまちづくりを目指しています。

また、計画期間についても、総合計画前期基本計画との整合を図るため同一の期間とし、令和3年度から令和7年度までの5年間としています。

総合計画前期基本計画
リーディングプロジェクト
『“住んでみよう・住み続けよう”
秦野みらいづくりプロジェクト』



第2期総合戦略
基本目標（プロジェクト）

人口減少と地域経済縮小の克服

地域資源を生かした活力あるまちづくりを推進するための施策として基本目標を定め、基本目標を達成するために講ずべき施策の基本的方向とその評価指標を設定しています。

1 基本目標(プロジェクト)

国の第2期総合戦略が定める政策分野を勘案して、市の第2期総合戦略における政策分野を定め、5年後の基本目標(実現すべき成果に係る数値目標KGI※1)を設定しています。

2 講ずべき施策に関する基本的方向

基本目標を達成するために講ずべき施策の基本的方向を示しています。

3 具体的な施策と客観的な指標

基本的方向に沿って、具体的な施策を記載するとともに、各施策の効果を客観的に検証できるようにするため、重要業績評価指標(KPI※2)を設定しています。

※1 KGI:Key Goal Indicatorの略称。目標を達成するための指標。

※2 KPI:Key Performance Indicatorの略称。施策ごとの進捗状況を検証するために設定する指標。

PDCAサイクルを重視した効果検証

「まち・ひと・しごと創生」においては、若者や女性への支援、そしてまちづくりまで多岐にわたる分野について、横断的に取り組むことが求められています。

そのため、事業の推進にあたっては、行政のみならず、市民や事業者、関係者等がそれぞれの役割と連携のもとで協働により取り組むことが必要です。

計画の進捗状況については、基本目標及び施策ごとにそれぞれ目標を設けるとともに、評価・検証し、必要に応じて取組内容を見直すPDCAサイクルを重視して、その実効性を高めます。

	目標の設定内容	効果検証時期	効果検証の方法
基本目標	実現すべき成果に係る数値目標(KGI)	計画期間終了後	有識者等による外部評価を経て、必要に応じて戦略の見直しを行う
施策	重要業績評価指標(KPI) ※ 検証による見直しもあり得る。	毎年	

基本目標1
健康で安心して暮らせるプロジェクト

- 水とみどりを育む取組みの推進
- 人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進
- 生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進
- 災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進

基本目標2
未来を拓く子育て・教育プロジェクト

- 安心して妊娠・出産できる環境づくりの推進
- 秦野で子育てして良かったと思える環境づくりの推進
- 次代を担う「はだのっ子」の確かな学力向上施策の推進
- 市民総ぐるみによる学校給食の推進

基本目標3
小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

- 温泉を生かしたにぎわい創造の推進
- 学生の力を生かしたにぎわい創造の推進
- 文化財・桜・湧水を生かしたにぎわい創造の推進
- 丹沢登山や渋沢丘陵を生かしたにぎわい創造の推進

基本目標4
新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

- 表丹沢魅力づくり構想の推進
- 地域特性を生かした企業誘致の推進
- 新たな人の流れを支えるネットワーク形成の推進
- 国道246号バイパス(厚木秦野道路)早期全線事業化・整備の促進

基本目標5
新たな日常創造プロジェクト

- 新型コロナウイルスと共存した感染症対策と経済活動の推進
- デジタル化の推進

横断プロジェクト
移住・定住活性化

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

- 基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト
- 基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト
- 基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト
- 基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト
- 基本目標5 新たな日常創造プロジェクト
- 横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

第2期戦略3年度目の評価

昨年度は、令和4年度の実施について外部評価を行い、行政調査会から「5つの基本目標と1つの横断プロジェクトの達成状況に対する市の総括は妥当であり、令和4年度の実施は概ね順調に進んでいる」との評価を得ました。

今年度は、昨年度の外部評価の指摘事項等を踏まえ、自己評価の改善に努めた上で内部評価に当たりました。

1 基本的背景

総合戦略では、国からの通知等により、学識経験者等の第三者の検証を求め、達成状況の評価の透明性、客観性及び公正性を確保することが必要とされています。

2 行政需要への的確かつ柔軟な対応

総合戦略で掲げた施策について、その進捗状況の効果や課題を検証し、必要な見直しを図るため、PDCAサイクルを構築し、変化し続ける行政需要に的確かつ柔軟に対応します。

3 市民等との共有

事業の推進にあたっては、行政のみならず、市民や事業者、関係者等がそれぞれの役割と連携のもとで協働により取り組んでいくことが必要であるため、評価結果を公表し市民等と共有します。

1 達成状況について

市では、各部局において、総合戦略の重要業績評価指標(KPI)単位の達成状況を評価したうえで、基本目標単位の達成状況を総括しました。

なお、達成状況の総括は、KPI単位の評価を基準として、右表の区分に応じたものとしています。

2 外部評価について

基本目標ごとに、市の達成状況の総括の内容が妥当であるか否かの評価を行いました。

【達成状況(KPI単位)の区分】

区分	評価の考え方
A	数値目標の達成率が100%以上
B	数値目標の達成率が75%以上100%未満
C	数値目標の達成率が50%以上75%未満
D	数値目標の達成率が50%未満

【達成状況(基本目標単位)の総括の区分】

区分	評価の考え方
順調に進んでいる	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価の割合が100%
概ね順調に進んでいる	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が75%以上
やや遅れている	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が50%以上75%未満
遅れている	基本目標に掲げたKPI達成状況のA評価とB評価の合計の割合が50%未満

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

秦野らしい豊かな自然環境の中で、誰もが健康で生き生きと活躍し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりに取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
■ 監視基準井戸の地下水位	121.8m	▶	121.6m
.....			
■ 平均自立期間 (日常生活動作が自立している期間の平均・暦年)	男性 83.12歳(R2) 女性 85.79歳(R2)	▶	男性 83.92歳 女性 86.28歳
.....			
■ 秦野警察署管内刑法犯認知件数(年間)	650件	▶	620件

やや遅れています。

市民共有の財産である水とみどりを守り育て、生かすことにより、恵まれた自然環境と共生した秦野らしさのあるまちづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
水源の森林エリアにおける森林整備(奥山を除く)面積	標高が概ね300メートルを超える水源エリアでの適正な森林管理を促進する	26.97ha	125ha	40.81ha	75.00ha	47.79ha	63.7%	C	<ul style="list-style-type: none">森林所有者と締結した「協力協約」に基づく森林整備水源の森林づくり事業による補助(秦野市森林組合)
くずはの家における自主事業の実施回数	生物多様性、自然環境の現状について学び、その保全・活用に対する意識の向上を目指す機会として自主事業を実施する	82回	88回	88回	85回	103回	121.2%	A	<ul style="list-style-type: none">くずはの家を中心とした自然観察会の実施自然保護及び緑化の推進に関する普及啓発自然観察指導員の養成講座の実施
秦野市の二酸化炭素排出量	秦野市地球温暖化対策実行計画において掲げた目標値(2013年度比・2030年度46%削減)を目指す	768千トン (H30実績)	720千トン	705千トン (R2実績)	736千トン	641千トン (R3実績)	114.8%	A	<ul style="list-style-type: none">デコ活(旧COOL CHOICE)の啓発普及ライトダウン、グリーンカーテンの実施小・中学校における省エネ教育プログラムの実施 ※ 削減目標であるため、達成率を(A)／(B)で算出

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
植樹祭、下草刈、県民参加の森林づくりなど森林整備事業への市民参加数	市民主体の植樹・育樹等を通じた市民による森林づくりを推進する	937人	1,150人	807人	1,100人	562人	51.1%	C	<ul style="list-style-type: none">・弘法山公園内、平沢地内での植樹の実施・表丹沢野外活動センター活動棟裏、頭高山の草刈りの実施・北小学校6年生児童の植樹体験
秦野名水ロゴマークの使用件数(累計) ※ R6.3目標値変更	「秦野名水」の効果的な普及啓発を図る	87件	181件	151件	161件	160件	99.4%	B	<ul style="list-style-type: none">・ホームページ等での周知
市民一人1日当たりのごみの排出量(資源物を除く) ※ R5.3指標追加	持続可能な循環型社会に向けて再使用、資源化を促進するとともに、市民生活や事業活動から排出されるごみの抑制を目指す	613g	595g	593g	606g	576g	105.2%	A	<ul style="list-style-type: none">・ごみ減量、資源化及び分別ルールの周知・啓発・生ごみ・食品ロス減量の推進・環境教育・環境学習の推進 ※ 削減目標であるため、達成率を(A)／(B)で算出

やや遅れています。

人生100年時代を心身共に健康で安心して暮らせるよう、地域医療の充実・強化を図りながら健康長寿に向けた取組みを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
未病センター健康相談会における利用者数	身近な場所で自身の健康状態を把握し、その結果に基づき健康づくりをする人を増やす	182人	260人	124人	240人	176人	73.3%	C	・相談会(骨密度測定)と未病改善のセミナーの実施
特定健康検査の受診率及び特定保健指導の利用率	特定検診、特定保健指導の受診率及び利用率の向上による健康長寿に向けた取組みを推進する	33.6% 14.4%	40.0% 26.0%	33.2% 12.8%	40.0% 26.0%	36.3% 15.1%	73.3% 90.8%	B	・集団検診実施 ・各種イベント等での啓発活動 ・市広報特集号による周知 ・未利用者に対する利用勧奨通知及び専門職による電話勧奨の実施
「週1回30分以上スポーツ・レクリエーション活動する市民」の割合	各種スポーツ大会の企画・実施を通じた生涯スポーツ活動の普及促進を図る	42.9%	65.0%	36.6%	57.5%	39.8%	69.2%	C	・はだのチャレンジデー2023の開催(参加率アップ賞受賞) ・はだの丹沢水無川マラソン大会の開催 ・市民参加イベントの開催
市内の就業看護職員数	医師会との情報共有や支援等を通じて市内で就業する看護職人材を確保する	1,516人	1,650人	1,534人 (R2実績)	1,600人	1,512人 (R4実績)	94.5%	B	・修学等資金の貸与制度の周知

概ね順調に進んでいます。

誰もが住み慣れた地域で、生きがいを持ちながら安心して暮らせるよう、地域における人と人のつながりを大切にし、互いに助けあい、共に支えあうまちづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
地域共生社会の実現に向けた福祉研修の実施回数 (年間)	地域住民相互の支えあいによる共助の取組みの活性化等を通じた「地域共生社会」の実現を目指す	— ※	2回	3回	2回	3回	150.0%	A	・ 複合的な地域生活課題の解決に向けた研修の開催 ※ 研修がR3年度に開始されたため現状値(R元)を「-」とする
要介護等認定率	介護予防等の取組みの強化による認定率の上昇抑制を図る	14.1%	17.0%	15.0%	15.9%	15.1%	105.3%	A	・ 地域高齢者支援センターの機能強化 ・ 在宅医療・介護連携等の充実 ・ 安全・安心に暮らすための生活支援サービスの充実
認知症サポーター養成者数	地域・職場・学校等に向けた「認知症への理解を深める普及啓発」によって、市民全体で認知症の人とその家族を支える基盤づくりを目指す	13,250人	24,000人	15,097人	20,000人	16,023人	80.1%	B	・ 認知症サポーター養成講座の開催

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
住民主体の通いの場への高齢者の参加者数	介護予防に資するサロン活動や体操を継続的に行う住民の通いの場の充実を図る	4,892人	5,200人	4,631人	5,100人	5,668人	111.1%	A	・通いの場の拡大と周知

概ね順調に進んでいます。

市民の生命や財産を守り、安全・安心な暮らしを実現させるため、市民、事業者、行政が一体となった地域力や都市の安全性を強化する取組みを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
防災訓練等の参加者数 ※ R5.3指標・目標値変更 ※ R6.3目標値変更	地域防災体制の整備・強化のための防災訓練等の実施	— (3,749人※)	36,000人	27,275人	34,000人	36,568人	107.6%	A	・地域での防災訓練や防災講習会等の開催 ※ 現状値(R元)には総合防災訓練の参加者が含まれない
木造住宅の耐震相談会の開催回数(年間)	木造住宅の耐震改修促進のための相談会の実施	12回	12回	11回	12回	10回	83.3%	B	・木造住宅の耐震改修促進のための相談会の実施
管理不全空家の状態が改善された割合	防災、衛生、景観等において周辺の生活環境に悪影響を及ぼすおそれのある管理不全空家の防止解消に向けた対応を図る	60.0%	70.0%	71.0%	66.0%	72.8%	110.3%	A	・「空家等の適正管理に関する条例」の施行、運用

市による達成状況の総括 概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)17項目のうち、A評価(8項目)及びB評価(5項目)の合計は、13項目(約76%)でした。

「生きがいを持って安心して暮らせるまちづくりの推進」及び「災害や犯罪に強いふるさとづくりの推進」では、A評価及びB評価の合計が100%となっており、「住民主体の通いの場への高齢者の参加者数」や「管理不全空家の改善割合」が目標値を大きく上回るなど、施策は概ね順調に進んでいます。

一方、「水とみどりを育む取組みの推進」及び「人生100年時代の健康長寿に向けた取組みの推進」では、C評価がそれぞれ2項目となり、森林整備に係る事業及び健康づくりに関する意識啓発に課題が生じていることから、事業内容や周知方法等の必要な見直しを行った上で、自然環境の保全及び市民の健康づくりに向けた取組みを推進します。

外部評価

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

結婚・妊娠・出産・育児への切れ目のない支援を行い、安心して子育てできる環境を整備するとともに、教育水準の改善・向上や中学校給食の完全実施を中心とした取組みにより、秦野の未来を担う子どもたちの生きる力を育む教育環境づくりに取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
■ 合計特殊出生率	1.12(H30)	▶	1.43
.....			
■ 全国学力・学習状況調査等における集計値 (平均正答率)	60.2%(全国63.8%)	▶	全国平均以上
.....			
■ 全国学力・学習状況調査等における集計値 (学習意欲)	60.4%	▶	68.0%
.....			
■ 全国学力・学習状況調査等における集計値 (非認知能力)	71.2%	▶	81.0%

概ね順調に進んでいます。

周産期医療及び保健体制の整備・充実などにより、安心して妊娠・出産ができる環境づくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
育てにくさを感じた時に、相談先を知っているなど、何らかの解決する方法を知っている保護者の割合(3歳6か月児健康診査時調査)	妊娠期から子育て期までの相談体制を整備し、親子の多様性に応じた継続支援の充実を図る	66.1%	75.0%	65.6%	70.0%	71.6%	102.3%	A	<ul style="list-style-type: none">・ 宿泊型の産後ケア開始・ 市内及び近隣の産科医療機関と連携した妊産婦支援の充実・ 妊娠届出時の先を見通せる応援プランの提示
ゆったりとした気分で子どもと過ごせる時間がある母親の割合(1歳6か月児健康診査時調査)	少子化・核家族化の進行、地域とのつながりの希薄化による妊産婦やその家族を支える力が弱くなってきている中での切れ目ないきめ細やかな支援を実施する	86.4%	87.5%	82.8%	87.0%	83.2%	95.6%	B	<ul style="list-style-type: none">・ 月齢に応じた発育・発達の確認・ 切れ目ない支援の場としての個別相談の実施

概ね順調に進んでいます。

結婚から育児までの切れ目のない支援により、地域で安心して子育てができる環境づくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
定員超過により保 育所等に入所でき ない児童の数 (4月1日時点)	仕事と子育てを両 立し、安心して子育 てができる環境づ くりにより待機児 童の解消を目指す	9人	0人	0人	0人	0人	100.0%	A	・1歳児の保育士配置に係る補助 基準の見直し ・保育士確保策として就労促進給 付金の交付 ・公立こども園の改修及び民間保 育所等への施設整備補助
地域子育て支援拠 点事業の箇所数	新たな地域子育て 支援拠点を増やし、 子育て支援の充実 を図る	8箇所	9箇所	10箇所	9箇所	10箇所	111.1%	A	・子育てに関する不安や悩みを相 談できる場の提供
特に児童虐待のリ スクが高い要保護 児童に対する個別 ケース検討会議の 開催割合	児童虐待の発生予 防と早期発見・早 期対応を目指した 個別ケース検討会 議を開催する	80.0%	100.0%	80.0%	95.0%	85.0%	89.5%	B	・所属機関との協議の場の確保 ・保育所等を利用しない4. 5歳児 の支援の開始 ・親支援講座(連続講座)を実施し た。
ひとり親家庭等の 保護者の資格取得 後の就職状況	ひとり親家庭の保 護者の就業や就職 活動を側面から支 援し、早期自立を 目指す	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	89.0%	89.0%	B	・自立支援教育訓練給付金の給付 ・高等職業訓練促進給付金の給付 ・母子・父子自立支援員によるひ とり親家庭に対する相談

概ね順調に進んでいます。

子どもたちの新たな学びのスタイルを構築するとともに、次世代の教育を見据えた環境整備により、「はだのっ子」の確かな学力向上に向けた取組みを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
保護者アンケートにおいて、園小中一貫教育が推進されていると回答した人の割合	園小中一貫教育を推進し、教育水準の改善向上のエビデンスとするため、学びの連続性を実感できる体制づくりを推進する	67.0%	77.0%	80.1%	72.0%	77.4%	107.5%	A	<ul style="list-style-type: none">園小中一貫教育の今後についての研究南が丘中学校区をモデル地区とした、マネジメントやカリキュラム研究の実施2地区(北及び西小学校区)での園小接続カリキュラムに係る研究の実施
学校運営協議会の設置校数	地域とともにある学校づくりに向けた学校運営協議会の設置によりコミュニティ・スクールを推進する	7校	22校	16校	14校	18校	128.6%	A	<ul style="list-style-type: none">CSディレクターの配置及び地域での講演会等の開催地域学校協働本部との適切な連携の在り方についての研究・実践地域住民の教育活動への参加・支援体制の構築
授業でICTを効果的に活用できていると回答した教職員の割合(文科省調査)	学校における働き方改革を含め、教職員がICTの効果的な活用を実感できる体制づくりを推進する	74.4%	100.0%	78.8%	90.0%	80.9%	89.9%	B	<ul style="list-style-type: none">授業支援アプリやAIを搭載した学習ドリルアプリの継続ICT支援員による学校巡回支援の実施ICTマイスター制度の継続

概ね順調に進んでいます。

中学校給食の完全実施を契機とし、商業・農畜産業などの地場産業との連携による地産地消や地域に根差した食育の推進により、市民総ぐるみの学校給食を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
学校給食食材における秦野産野菜の使用割合	対象品目において秦野産野菜の年間総使用量割合の向上を目指す	37.2%	50.0%	32.7%	40.0%	34.7%	86.8%	B	<ul style="list-style-type: none">・ふるさと秦野食育DAY及びかながわ産品デーによる秦野産野菜の使用・地域生産者組合の出前授業の実施・特産品の収穫体験及び特産品を使用した給食提供
地産地消応援サポーター登録店舗数	消費、流通、販売面から地産地消推進に参画する登録店舗数の増加を目指す	47店	55店	50店	53店	49店	92.5%	B	<ul style="list-style-type: none">・「はだの農産物応援サポーター店」PRのための店内表示看板を作成・広報はだのによる制度の周知

市による達成状況の総括 概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)11項目のうち、A評価(5項目)及びB評価(6項目)の合計は、11項目(100%)でした。
施策は概ね順調に進んでおり、特に「定員超過により保育所等に入所できない児童の数」が0(ゼロ)人を前年度から継続して達成するなど、取組みの成果が表れている事業が多くあるため、引き続き、切れ目のない支援に努めます。

外部評価

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

「温泉」、「大学」、「まちの中心地、文化歴史」、「表丹沢」など、小田急線4駅それぞれの魅力ある地域資源や特色を生かした、楽しい「まち歩き」の仕掛けづくりなどにより、活力あふれるのにぎわい創造に取り組みます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
<div></div> 4駅の乗降客数の合計(1日平均)	123,058人	▶	123,000人
.....			
<div></div> 定住意向 (住み続けたい、どちらかと言えば住み 続けたいと考えている市民の割合)	79.3%(R2)	▶	95.0%

順調に進んでいます。

大山と鶴巻温泉駅を結ぶバスの運行など、自治会、商店会等と連携し、温泉地としての魅力を生かした駅周辺のにぎわいづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
鶴巻温泉年間観光 客数	弘法山公園の観光 資源としての価値 を最大限引き出し、 東海大学前駅、秦 野駅周辺を含めた 地域活性化に向け た魅力あるまちづ くりを目指す	173,950人	180,977人	141,885人	173,950人	183,788人	105.7%	A	<ul style="list-style-type: none">・大山～鶴巻温泉駅間のバ ス季節運行の期間拡大・バス季節運行に合わせた イベントの実施・YouTube動画を活用し た広報宣伝の実施
弘法の里湯年間利 用者数	鶴巻温泉街の観光 振興と地域活性化 を図る	147,243人	153,191人	120,256人	147,243人	174,330人	118.4%	A	<ul style="list-style-type: none">・キャッシュレス決済機能の 導入・誘客イベントやキャンペ ーンの実施・YouTube動画を活用し た広報宣伝の実施

やや遅れています。

駅利用者の利便性や安全性を高めるとともに、大学等と連携し、多くの学生が集まる駅という特色を生かしたにぎわいづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
学生と連携した商店街イベントの参加者数	商店街と学生が連携したイベントの実施によるにぎわい創造を推進する	7,000人	7,700人	2,734人	7,350人	3,600人	49.0%	D	<ul style="list-style-type: none">・東海大学駅前商店会協同組合及び東海大学湘南学生会によるおおね秋まつりの開催・歳末売り出し(学生主催によるクリスマスU-night2023の実施)
東海大学前駅の乗降者数(1日平均)	東海大学前駅周辺のにぎわい創造による乗降者数の増加を図る	38,909人	38,000人	32,462人	38,000人	35,209人	92.7%	B	<ul style="list-style-type: none">・4駅にぎわい創造検討懇話会(東海大学前駅)の開催
商店街区域内の新規開業店舗数(商店街空き店舗活用事業補助金活用店舗数) ※ R5.3指標追加	空き店舗を活用した新規開業を促し、商店街の活性化を図る	9件	5件	5件	5件	4件	80.0%	B	<ul style="list-style-type: none">・市内の商店街にある空き店舗を活用して新たに事業を行うものに対する支援

概ね順調に進んでいます。

良好な市街地形成に加え、まちの中心として発展した歴史や湧水、文化、桜並木などの地域資源を生かしたにぎわいづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
震生湖年間観光客数 ※ R6.3目標値 変更	震生湖の魅力を磨き上げ、秦野駅からのハイカー等を増加させることで駅周辺のにぎわいにつなげる	39,089人	64,300人	58,998人	60,700人	54,450人	89.7%	B	<ul style="list-style-type: none">老朽化が進む太鼓橋の架け替えに向けた詳細設計の実施散策路の補修危険樹木の伐採
弘法山公園年間観光客数 ※ R6.3目標値 変更	秦野駅と鶴巻温泉駅、東海大学前駅を結ぶ周遊観光拠点として、世代を問わず低山登山やハイキングを楽しめるよう、桜や展望台、ハイキングコースなど観光資源の適正な維持管理や、弘法山周辺の活性化に資する取組みを推進する	344,382人	539,600人	493,924人	508,700人	501,356人	98.6%	B	<ul style="list-style-type: none">「弘法山公園利活用方針」の策定YouTube動画を活用した広報宣伝の実施ニーズ調査を目的とした弘法山マルシェの開催

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取り組み事業等
名水はだの富士見 の湯年間来訪者数 ※ R6.3目標値 変更	弘法山公園の観光 資源としての価値 を最大限引き出し、 東海大学前駅、秦 野駅周辺を含めた 地域活性化に向け た魅力あるまちづ くりを目指す	76,403人	121,300人	111,084人	114,400人	156,795人	137.1%	A	<ul style="list-style-type: none">・第3期指定管理期間 (R5.10～)の指定管理者 との協定締結・大手温泉情報サイトを活用 した広報宣伝・誘客イベントやキャンペー ンの実施

概ね順調に進んでいます。

表丹沢や渋沢丘陵への玄関口として多くの登山者やハイカーが訪れるため、商店会や関係団体と連携し、まちの魅力発信とにぎわいづくりを推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
頭高山年間来訪者数	にぎわいの創造につなげるため、ハイカーや観光客が快適に過ごせるようハイキングコースなど観光資源の整備や維持管理に努める	7,684人	7,994人	4,930人	7,684人	6,634人	86.3%	B	<ul style="list-style-type: none">山頂の眺望確保のための修景伐採散策路のウッドチップ舗装憩いの場の快適な環境の維持
大倉地区年間観光客数	表丹沢魅力づくり構想のもと、表丹沢において気軽に山歩きが体験できる環境整備を進め誘客促進を図る	332,165人	345,584人	341,518人	332,165人	427,882人	128.8%	A	<ul style="list-style-type: none">テント泊と登山を組み合わせた体験イベントを実施
秦野丹沢まつり来訪者数	「山に親しむことができる祭り」として山開き式やイベントを実施する	56,000人	58,262人	— ※	56,000人	54,000人	96.4%	B	<ul style="list-style-type: none">集中登山及びステージゲストへのインフルエンサー起用クラウドファンディングの実施 ※ R4年度は新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止

市による達成状況の総括

概ね順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)11項目のうち、A評価(4事業)及びB評価(6事業)の合計は、10事業(約91%)でした。

施策は概ね順調に進んでいますが、「学生と連携した商店街イベントの参加者数」では目標値を大きく下回っているため、引き続き、商店街が実施する事業への支援を通じた学生参加の取り組みを推進します。

外部評価

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト





基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

新東名高速道路の開通を本市発展の絶好の機会と捉え、産業・観光振興の両面から最大活用を図るとともに、国道246号バイパスの早期全線事業化・整備の促進に取り組んでいます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
 年間観光客数	4,472,000人		4,652,000人
.....			
 観光客の年間消費額	59億1,800万円		61億5,700万円

やや遅れています。

表丹沢における農林業、観光、文化、歴史、スポーツなど、広範な分野の地域資源を磨き、つなげ、新たに触れる機会を増やし、
本物の魅力を見つけ出せる表丹沢とすることにより、交流人口の増加と地域活性化を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取り組み事業等
表丹沢の魅力発信 WEBサイトへの年 間アクセス件数 ※ R6.3指標変更	表丹沢の観光ス ポット等の情報発 しするWEBサイト の運営	65,797件	130,000件	114,789件	110,000件	163,575件	148.7%	A	・表丹沢ツーリズム(イベン ト)の情報発信 ・SNSを活用したキャンペ ーンの実施
表丹沢野外活動セ ンター年間利用者 数	青少年の育成活動 や里地里山保全活 動を中心とした利 用のほか、更なる 活用を促進する	11,266人	17,000人	7,693人	15,000人	11,870人	79.1%	B	・指定管理者による管理運営 の開始 ・いろり棟での宿泊やキャッ シュレス決済の導入 ・各種体験プログラムの実施
ヤビツ峠レストハウ ス年間利用者数	森林、里地里山、観 光の連携事業を展 開するための拠点 施設として、交流 人口の増加と市内 消費を生み出し、 地域所得の向上や 観光振興、アウトド ア活動やグリーン ツーリズムが盛ん な地域イメージの 確立を図る	— ※	18,987人	13,152人	18,250人	13,208人	72.4%	C	・市によるトレイルランイベン トの実施 ・施設管理者による各種アク ティビティイベントの実施 ・施設管理者による秦野産の 野菜や丹沢の植物を活用し た商品開発 ※ R3年に開設されたため 現状値(R元)を「-」とする

遅れています。

新東名高速道路等のネットワークや地域特性を生かした新たな雇用の創出につながる周辺への企業誘致を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
新規立地及び施設 再整備企業数(企 業誘致条例の優遇 措置適用企業数) (年間)	本市の地域特性を 生かした企業誘致 及び市内既存企業 の施設再整備を図 る	3社	2社	1社	2社	1社	50.0%	C	<ul style="list-style-type: none">・県、金融機関と連携した情 報収集・制度の周知

概ね順調に進んでいます。

スマートインターチェンジから市街地へのアクセス性を高めるなど、新東名高速道路開通に伴う新たな人の流れを支えるネットワーク形成を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
構想路線(都市計画道路 菩提横野線(1期区間)の整備進捗状況 ※ R6.3目標値変更	新東名高速道路の供用開始に伴い、SICから中心市街地へのアクセス性を高める	0.0%	55.0%	5.0%	10.0%	8.1%	81.0%	B	<ul style="list-style-type: none">• 用地買収の実施• 詳細設計委託業務の実施

順調に進んでいます。

県、周辺自治体と連携し、国道246号バイパスの建設促進や未事業化区間の早期事業化を促進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
早期全線事業化・ 整備の促進に係る 要望回数	246号バイパスの 建設促進や未事業 化区間の早期事業 化に向けた国県等 への要望を行う	4回	4回	4回	4回	4回	100.0%	A	<ul style="list-style-type: none">・国道246号バイパス建設促進協議会による要望(夏季・秋季)・県の施策、予算、制度等に対する要望・市長会(県・全国)による要望

市による達成状況の総括 やや遅れている

重要業績評価指標(KPI)6項目のうち、A評価(2事業)及びB評価(2事業)の合計は、4事業(約67%)でした。
また、「ヤビツ峠レストハウス年間利用者数」では、利用数が前年度から横ばいの状況にあるため、広報宣伝やイベント等を積極的に行い、新規利用者の獲得に向けた取組みを推進します。

外部評価

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

新型コロナウイルスの収束を見据え、市民の「健康と医療」、「日々の暮らし」、「地域経済」を守る3本柱での対策を充実させるとともに、スマート自治体への転換やデジタル化を推進し、新たな日常の創造に取り組めます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)

	R元(2019) 現状値		R7(2025) 目標値
■ 標準財政規模に対する実質収支と財政調整基金現在高の割合(適正な実質収支比率及び財政調整基金現在高比率の確保)	14.2%	▶	15.0%
.....			
■ 各種手続のオンライン化率	34.0%	▶	100.0%

順調に進んでいます。

感染症から市民の健康を守るとともに、新たな日常における日々の暮らしや地域経済を守る施策を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
工業統計調査における、従業員4人以上の事業所の1年間の製造品出荷額等	新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を踏まえ、平成25年度現状値と同額以上を目指す	4,402億円	4,402億円	4,006億円 (R3年実績)	4,402億円	4,635億円 (R4年実績)	105.3%	A	<ul style="list-style-type: none">企業の事業継続を支援するための取組みを実施利子補給を拡充支援するとともに信用保証料を補助

概ね順調に進んでいます。

あらゆる市役所業務でのICTの積極的活用により、スマート自治体への転換やデジタル化を推進しています。

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
市ホームページへの 年間アクセス件数 ※ R6.3目標値変更	市民との情報共有 や市のPRを図る ため、閲覧性や検 索性の向上と魅力 的な内容の充実を 図ることによるア クセス数の増加を 目指す	797万件	950万件	1,035万件	812万件	938万件	115.5%	A	・ホームページの内容の充実 ・SNSの内容の見直し
ICTの活用により削 減された職員の事務 作業時間(累計)	定型的な業務に対 して、業務プロセス の効率化、非効率 な業務時間の短縮 等によるコスト削 減などを目的に、 RPAによる業務自 動化を導入する	— ※	7,350時間	1,619時間	3,300時間	3,113時間	94.3%	B	・RPA実行環境を5業務追加 (累計13業務での運用) ※ R2年にRPAの運用が開 始されたため現状値(R元) を「-」とする
LINE友達登録数 ※ R6.3目標値変更	防災情報や感染症 関連情報イベント 情報など、緊急情 報や暮らしに役立 つ情報を発信し、 市民の情報取得の 利便性向上を図る	— ※	26,000人	23,542人	24,000人	24,213人	100.9%	A	・導入の趣旨に沿った運用に よる迅速な情報提供の実施 ・ホームページやチラシによ る周知 ※ R2年に開設されたため 現状値(R元)を「-」とする

市による達成状況の総括 **概ね順調に進んでいる**

重要業績評価指標(KPI)4項目のうち、A評価(3事業)及びB評価(1事業)の合計は、4事業(100%)でした。
施策は概ね順調に進んでいます。

外部評価

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

本市に多くの人の流れを呼び込むことが期待される基本目標3と基本目標4を組織横断的に進め、「住みたい」、「働きたい」、「何度でも行ってみたい」につながる「関係人口」を創出・拡大させることにより、地域経済の活性化を図るとともに、移住・定住人口の増加につなげます。

実現すべき成果に係る数値目標(KGI)



30代の転出超過者数(暦年)

重要業績評価指標(KPI)の達成状況

KPI	主な事業の目的	現状値 (R元)	最終目標値 (R7)	R4実績値	R5目標値 (A)	R5実績値 (B)	R5達成率 (B)／(A)	達成 状況	R5主な取組み事業等
住宅施策を活用した年間移住世帯数 ※ R5.3目標値変更	若年世帯等への住宅購入補助、既存施策と連携した移住・定住希望者への積極的な情報提供等により、人口減少の抑制を図る	4世帯 ※	15世帯 ※	75世帯	115世帯	199世帯	173.0%	A	・はだの丹沢ライフ応援事業の周知、運用 ・ミライエ秦野の入居者募集、運用 ・空家バンクの運用 ※ R4～R6の期間で「はだの丹沢ライフ応援事業」を実施しているためR元及びR7目標値に当該事業の実績等が含まれない

市による達成状況の総括 順調に進んでいる

重要業績評価指標(KPI)1項目の令和5年度の実績は目標を大きく上回っており、施策は順調に進んでいます。

外部評価

1. 総合戦略の概要

2. 評価の趣旨及び方法

3. 具体的施策の評価

基本目標1 健康で安心して暮らせるプロジェクト

基本目標2 未来を拓く子育て・教育プロジェクト

基本目標3 小田急線4駅周辺のにぎわい創造プロジェクト

基本目標4 新東名・246バイパスの最大活用プロジェクト

基本目標5 新たな日常創造プロジェクト

横断プロジェクト 移住・定住活性化

4. 外部評価の総括

令和7年2月 日()に、秦野市行財政調査会から、令和5(2023)年度外部評価として、次のとおり市長への報告がありました。

本日の結果等を踏まえて作成し、次回の会議で内容をお示しします。